

# 塩素・Cl<sub>2</sub>

保護具	中毒が発生した時の応急措置	取扱上の注意事項	生ずるおそれのある疾患の種類及び症状
<p>○適切な呼吸器保護具（送気マスク、空気呼吸器、酸素呼吸器） 保温用手袋、適切な保護手袋（ネオプレン製）、適切な眼の保護具（化学飛沫用ゴーグル）、適切な顔面保護具、適切な保護衣（ネオプレン製のエプロン、ブーツ等）を着用すること。</p>	<p>○飲み込んだ場合 …直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。 口をすすぐこと。</p> <p>○眼に入った場合 …直ちに医師に連絡すること。水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>○皮膚に付着した場合 …直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。直ちに医師に連絡すること。皮膚を速やかに流水又はシャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。</p> <p>○吸入した場合 …空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。</p>	<p>○貯蔵しないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。</p> <p>○完全密閉系及び完全密閉装置でのみ取り扱うこと。</p> <p>○工程の密閉化、局所排気、その他の設備対策を使用する。</p> <p>○可燃物から遠ざけること。</p> <p>○減圧バルブにはグリースや油を使わないこと。</p> <p>○容器は丁寧に取り扱い、衝撃を与えたり、転倒させない。</p> <p>○容器の取付、取り外しの作業の際は、漏洩させないように、十分注意する。</p> <p>○使用後はバルブを完全に閉め、口金キャップを取り付け、保護キャップを付ける。</p> <p>○可燃性ガスと混合すると、発火、爆発の危険性がある。</p> <p>○接触、吸入または飲み込まない。吸入すると死亡する可能性。漏洩すると、材料を腐食させる危険性がある。</p> <p>○屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。</p> <p>○取り扱い後にはよく手を洗うこと。</p> <p>○この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。</p> <p>○環境に放出しないこと。</p>	<p>○重篤な皮膚の薬傷（液体に触れた場合凍傷を起こす、腐食性皮膚熱傷、痛み）</p> <p>○重篤な眼の損傷（腐食性、痛み、かすみ眼、重度の熱傷）</p> <p>○吸入すると生命に危険（腐食性、灼熱感、息切れ、咳、頭痛吐き気、めまい、息苦しさ、咽頭痛）</p> <p>○呼吸器の障害</p> <p>○長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、肝臓、腎臓の障害</p> <p>○水生生物に非常に強い毒性</p> <p>○長期的影響により水生生物に非常に強い毒性</p>